

最上流米コシヒカリをご愛顧いただき、ありがとうございます。  
今年の米作りを振り返ってみますと、……

山口の天候について——今年は例年とかなり違いました。四月から五月にかけては雨が多めに降り、水に恵まれて田植えを終えることができませんでした。が、六月の梅雨は半月ほどであけ、その後、七月に大雨があるも、八月半ばまで、晴れ続きの焼け付く暑さ、コシヒカリには高すぎる暑さに見舞われました。九月に入り、稲が色づいて刈りとりの時期を迎えると、今度は秋雨前線がすすわって雨続き。田んぼの地面が乾かず、稲を刈るコンバインが泥に沈みそうになる中を、やっとの思いで刈り終えました。

育て方・育ち方について——昨年は有機肥料を多くやりすぎて稲が倒れそうになったのを反省し、今年は昨年の四分の三におさえたところ、今度は少なすぎました。その結果、稲の分蘖（ぶんげつ）株わかれが足らず、穂の本数が少なくなつて、収量が昨年よりかなり減りました。肥料は昨年と今年の間がよさそうです。

農業機械について——（稲を刈り取って脱穀し、籾をとる）コンバインを今年（中古ながら）買いかえ、（籾を乾かす）乾燥機も昨年新しくしたので、今年は初めから終わりまで快調。農協の農機係を一度も呼びませんでした！

以上をまとめると、天候はよくなかった。育て方・育ち方は、昨年の反動で、あまりよくなかった。農業機械は、きわめて順調だった。……というところ。味の方は「例年に何とか届いた」という感じでしょうか、皆さんいかがでしょう。

最上流米コシヒカリのパンフレットを同封させていただきました。  
ご注文をお待ちしております。

平成三十年 十月 吉日

穂山 恒男